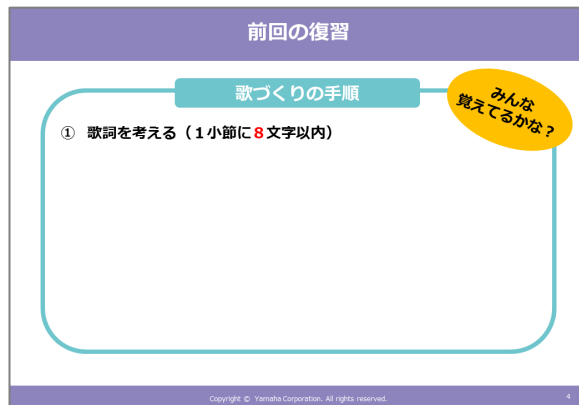


■参考シナリオ（第二時）

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	留意点
<div data-bbox="87 1131 124 1205">45分</div> <div data-bbox="145 1070 181 1261">導入 5分</div>	<p data-bbox="209 237 970 271">■本時の学習のめあてを確認する。(v03_bansho2.pptx : P1)</p> <div data-bbox="389 309 975 712"> </div> <p data-bbox="236 739 1161 1003">T: 今日の授業は、ボーカロイド教育版を使って「歌詞にメロディーをつけて8小節の歌をつくろう」というテーマで音楽づくりに取り組みます。授業の流れとしては、前回学んだ歌づくりの手順を復習して、8小節の歌をつくります。そしてその歌を、より音楽的にするための方法を説明します。最後に、その歌を○○○○に合ったメロディーにしていきたいと思います。○の言葉は後で学習しますので、お楽しみに。</p> <p data-bbox="209 1052 1126 1126">■どんな歌にしたいかをグループで話し合ってワークシートに記入する。(v03_bansho2.pptx : P2)</p> <div data-bbox="383 1153 981 1568"> </div> <p data-bbox="236 1601 1161 1982">T: まず歌をつくっていく前に、どんな歌にしたいかを考えてもらいたいと思います。歌といってもいろいろな歌が世の中にはありますよね。例えば、楽しくはずんだ感じ、ゆったりしてくつろげる感じ、堂々として落ち着いた感じ、など。今回皆さんがつくる歌をどんな歌にしたいのか、グループで話し合って、ワークシートに記入していきたいと思います。(3分程度)</p> <p data-bbox="236 1910 1050 1982">T: それぞれのグループがどんな歌にしたいか、決まりましたね。では前回の復習をしながら歌をつくっていきましょう。</p>	<p data-bbox="1189 237 1501 387">★教師用 PC と大型モニターをつないでパワーポイントを使って説明する。</p> <p data-bbox="1189 1787 1501 1892">★ワークシート 第二時 (v03_sheet2.pdf) を全員に配布する。</p>

- 第一時の復習をしながら、準備した歌詞にメロディーをつける。
- ・歌詞を入力し、リズムをボーカロイド教育版で作成する。
(言葉の区切りに注意してリズムをつくる。)(v03_bansho2.pptx : P4~8)

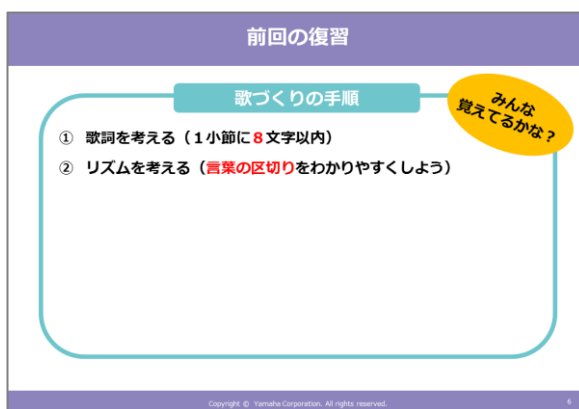


T: まずは前回の復習をしていきましょう。皆さん覚えていますか？
前回は歌づくりの手順を学びましたね。
まずは歌詞を考えます。
その際1小節には、何文字以内の歌詞を考えればよいですか？
C: 8文字です。
T: その通りですね。

★第一時のワークシートを参照させてもよい。



T: 前回は「きみとぼくとは ともだちだ」という歌詞を使いました。
カウントが入る1小節目の次の2小節目に「きみとぼくとは」を収め、3小節目に「ともだちだ」を収めるというルールで作りしましたね。



T: 歌詞を考えた後、何をしたら覚えていますか？
C: リズムを考えて入力しました。
T: その通りですね。

展開
35分

前回の復習 - リズムを試してみよう

Copyright © Yamaha Corporation. All rights reserved.

T: 前回の例だと、休符を使ったり音を伸ばしたりして、リズムを作りました。いろいろなパターンが考えられましたね。
今回は少しステップアップして、「言葉の区切り」に注目してリズムをつくってみましょう。

言葉の区切りをわかりやすく

言葉の区切りでは、
①音を伸ばす
②休符を入れる

Copyright © Yamaha Corporation. All rights reserved.

T: まずは実際の曲がどうなっているのかを見てみましょう。
この曲は「とんび」ですが、言葉の区切りの部分は怎么样了？
C: 休符が入っています。
C: 音も伸びているよ。
T: その通りです。
「とべとべとんび」「そらたかく」とちょうど言葉と言語の区切りのところで音が伸びていたり、休符が使われていたりしているので、言葉が聴きやすくなっていますね。
このように、言葉の区切りで音を伸ばす、もしくは休符を入れる、という工夫をしてリズムをつくっていきましょう。

・言葉の抑揚を手掛かりにメロディーをつける。(v03_bansho2.pptx : P9～14)

前回の復習

歌づくりの手順

- ① 歌詞を考える (1小節に8文字以内)
- ② リズムを考える (言葉の区切りをわかりやすくしよう)
- ③ 音の高さを考える (言葉の上がり下がりを手がかりにしよう)

みんな覚えてるかな？

Copyright © Yamaha Corporation. All rights reserved.

T: リズムができれば、次は音の高さを変えていきました。
何を手がかりにしたか覚えていますか？
C: 言葉の上がり下がりです。
T: そうでしたね。

前回の復習 - 音の高さを変えてみよう

★言葉の上がり下がりを手がかりにしよう

き み と ぼ く と は と も だ ち だ

※あくまでも目安なので、同じ音を続けなくてもいいよ。

Copyright © Yamaha Corporation. All rights reserved.

T: 音の高さも、ただ音を上げ下げしたのではなく、言葉の上がり下がりを手がかりにしていきました。「雨／飴」のように音の高さで意味が変わってしまう言葉もありましたよね。

前回の復習

歌づくりの手順

みんな覚えてるかな？

- ① 歌詞を考える（1小節に8文字以内）
- ② リズムを考える（言葉の区切りをわかりやすくしよう）
- ③ 音の高さを考える（言葉の上がり下がりを手がかりにしよう）
- ④ 音階のまほうをかけよう（みやこあし都節音階・おきなわ沖縄音階・ペンタトニック）

Copyright © Yamaha Corporation. All rights reserved.

T: そして最後に、音階の魔法をかけていきました。
前回はどうな音階を使いましたか？
C: 沖縄音階でつくりました。

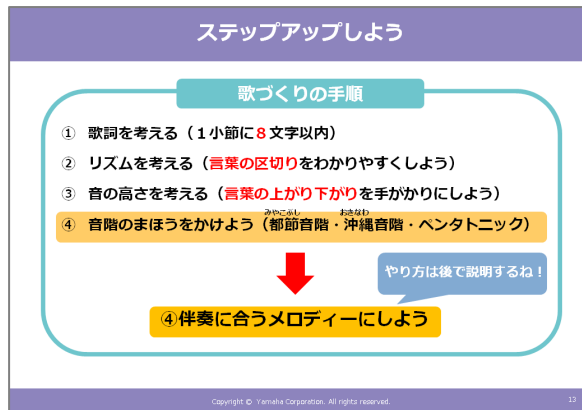
音階のまほうをかけよう

★音階の音にしてみよう

みやこあし都節音階 おきなわ沖縄音階 ペンタトニック

Copyright © Yamaha Corporation. All rights reserved.

T: そうですね。前回には都節音階・沖縄音階・ペンタトニックという3つ音階を紹介しました。
その中で皆さんには沖縄音階で歌を仕上げてもらいました。



T: ここまでが前回の復習です。これだけでももちろん歌はつくれますが、今回は音階の魔法ではなく、さらにステップアップして伴奏に合うメロディーをつくっていききたいと思います。
やり方は後で説明しますので、まずは前回の復習を踏まえて1～3までの手順で歌をつくっていきましょう。
歌づくりに入る前に、ファイルの保存について説明します。

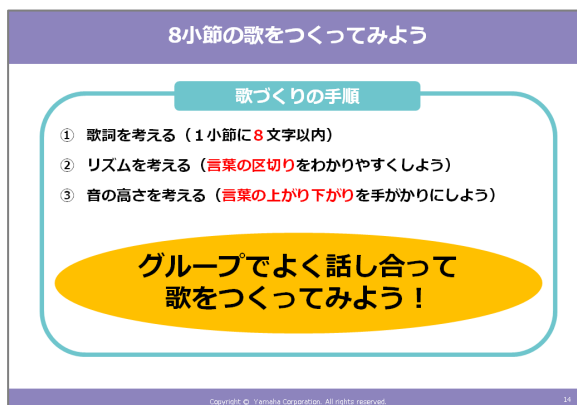
T: 歌のデータが消えてしまわないように、はじめに保存ファイルを作りたいと思います。
一緒に操作しながら説明します。
まずはボーカロイド教育版を立ち上げます。



T: ボーカロイドの画面の上にある、左から4つ目のアイコン「ファイル」を名前を付けて保存」をタップします。

※データの保存場所やファイル名のつけ方などを指示する。

例: ・保存場所: デスクトップ
・保存ファイル名: (日付) (クラス・グループ名)
「20170207_6年1組A班.vsqx」



T: では準備した歌詞を入力して、グループでよく話し合いながら歌をつくっていきましょう。(10分程度)

T: では、まだ作業中のグループも一旦手を止めて下さい。
今から伴奏に合ったメロディーの作り方を説明していきます。

★大型モニターと教師用タブレット端末をつなげて実際に操作しながら提示する。

★保存ファイルの初期値は「日付 - 時間」。

★保存データを作成後は、こまめに上書き保存させる。

★歌詞を入力する際に、歌詞が書かれたものを配布しておくとなりがスムーズになる。

■伴奏に合ったメロディーをつくる方法を説明する。

(v03_bansho2. pptx : P16)



T: 実は、伴奏に合ったメロディーはとても簡単に作ることができます。

伴奏に使われている和音の音を使うと間違いのないです。

例えば伴奏でドミソという音の和音が使われているとします。ここではメロディーにも「ド・ミ・ソ」の音を使うと、間違いなく伴奏に合ったメロディーになります。

ソシレの和音のところは、メロディーも「ソ・シ・レ」の音を使います。

実際の曲ではどうなっているのかを見てみましょう。

この楽譜は何の曲か分かりますか？

C: (歌ってみて)「ちょうちょう」です。

T: そうですね。では伴奏の和音とメロディーの関係を見ていきましょう。

1小節目の伴奏の和音は「ドミソ」で「ソ・ミ・ミ」という音がメロディーに使われていますよね。このメロディーの音は伴奏の和音に含まれていますね。

2小節目は伴奏の和音は「シレファソ」で、メロディーは「ファ・レ・レ」という音が使われています。では3小節目はどうでしょうか？

C: 伴奏の和音が「ドミソ」なのに、メロディーに「レ」と「ファ」が入っています。

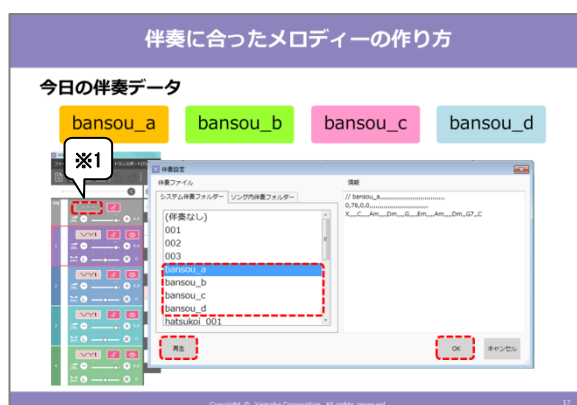
T: そう、実は一部分、伴奏の和音には含まれない音がメロディーに入っていますが、それでも大丈夫です。

ただ、全部が伴奏にない音になってしまうと、伴奏とは合わなくなってしまうので注意していきましょう。

T: ではこれから実際に伴奏データを選んで、その伴奏に合ったメロディーをつくっていきましょう。

★必ずしも伴奏の和音だけを使ってメロディーをつくらなければならない訳ではない。最終的には自分たちの耳が頼りであることを伝える。

■グループで話し合って伴奏データを選ばせる。(v03_bansho2. pptx : P17)



T: まずはグループで伴奏データを選んでいきます。

今回は4種類の伴奏(bansou_a、bansou_b、bansou_c、bansou_d)の中からつくりたい曲のイメージに合うものを選んでいきます。

伴奏のセッティングの仕方は、まずボーカロイドの左側に伴奏と書いてあるグレーの枠(※1)があります。その中の「- - -」の部分をつまみます。

すると伴奏設定という画面が開きます。その中の「bansou_a ~ d」という4種類の中から選びます。

実際に伴奏を聴いて選びたいと思うので、まずは伴奏を選択して再生というボタンをつまみましょう。そうすると伴奏の音が流れます。一通り確認して伴奏をグループで決めたら、OKのボタンをつまみます。すると伴奏が読み込まれて、設定が完了します。

では、各グループで伴奏を選びましょう。

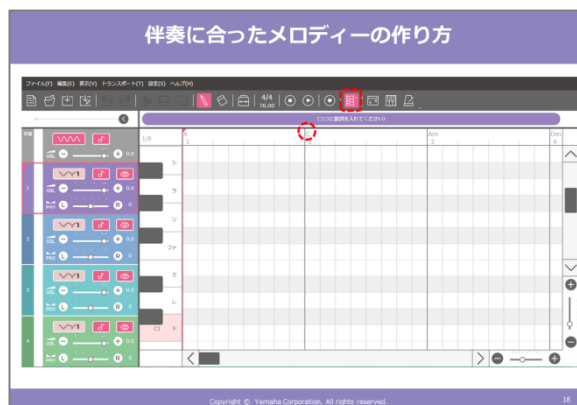
選んだら、ワークシートにどうしてその伴奏を選んだのか、グループで話し合って記入しましょう。

手がかりは、最初に皆さんで「どんな歌にしたいか」記入しましたよね。それを元に伴奏も選びましょう。(3分程度)

T: 伴奏が設定されたら、いよいよ伴奏に合うメロディーをつくっていきませんが、皆さん伴奏を聴いただけですぐにこれが何の音か…わかりませんよね。

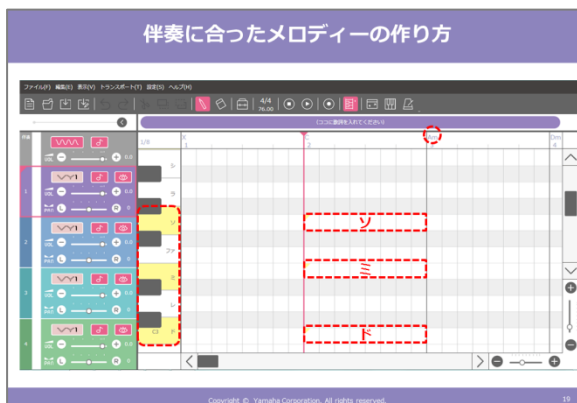
ボーカロイド教育版には伴奏の和音の音がすぐにわかる機能があります。

■伴奏に合ったメロディーを作成する。(v03_bansho2.pptx : P18~23)



T: ボーカロイドの画面の上の右から4番目のピアノの鍵盤が縦になっているアイコンの「コードガイド表示」をつまみましょう。

そして、2小節目のアルファベット「C」の上あたりをつまみ、赤い線を移動させましょう。



T: そうすると、左側の鍵盤に伴奏の和音の音が黄色く表示されますね。

★教師用タブレット端末と児童用タブレット端末に、あらかじめ伴奏データをインポートしておく。

また、ボーカロイド教育版にデフォルトで入っている下記の伴奏データも8小節なので、選択肢に含んでもよい。

- ・ 001
- ・ 002
- ・ 003

その音が伴奏で使われている和音の音です。「ド・ミ・ソ」が黄色く表示されていますね。

前回の授業では、最後に沖縄音階の音にメロディーを移動させて歌を仕上げました。それと同じように、今回は伴奏の黄色い表示の音を参考にしながらメロディーを移動させて仕上げていきましょう。

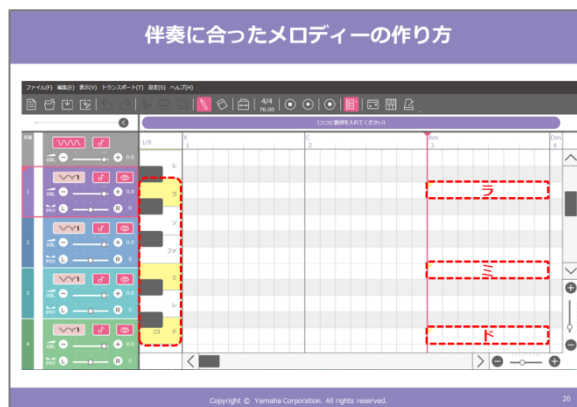
ただ、1点注意があります。

伴奏の和音は音階と違ってずっと同じではありません。小節が進むにつれて伴奏も変化していきます。

伴奏の和音が変わると小節番号の上にあるアルファベットの表示が変わります。

このアルファベットは「コードネーム」といって、伴奏の和音の種類を示しています。

試しに2小節目の「Am（エーマイナー）」の部分に赤い線を移動させるとどうなるかやってみましょう。



T: 黄色い表示が「ド・ミ・ラ」になりましたね。

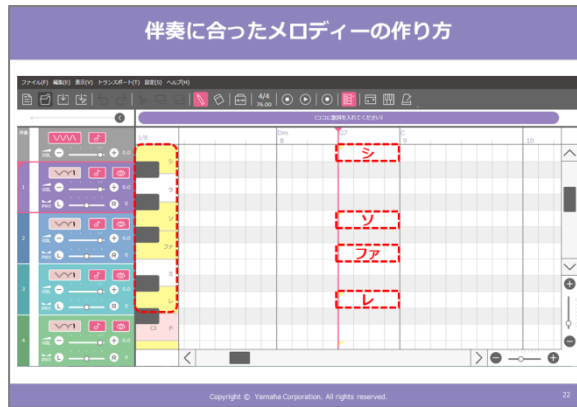
メロディーを入力する場所に合わせて、赤い線も移動させるのを忘れないようにしましょう。



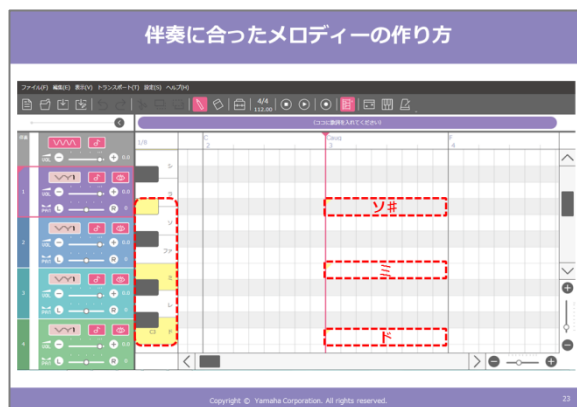
T: また、伴奏は小節の途中でも変わることがあります。

8小節目はアルファベットが小節の初めだけではなく、小節の途中にも出てきます。

8小節目の初めは「レ・ファ・ラ」が黄色い表示になっていますが、途中の「G7」の部分をつまみ移動させてみましょう。



T: 黄色い表示が「レ・ファ・ソ・シ」に変わりましたね。
アルファベットが出てきたら伴奏の音も変わっているの、小節の途中でも見逃さないように注意してくださいね。



T: また、選んだ伴奏パターンによってはこのように黒鍵が黄色い表示になっている和音も出てきます。
その場合は、黄色の表示の黒鍵（これは「ソ#」）に音を入れてみてください。おしゃれな感じになりますよ。

T: では、○：○○（時間を指定する）までの時間で、伴奏に合ったメロディーにしていきましょう。
（10分程度）

いろいろと試してみて、時々つくったメロディーを聴いて、確認しながら進めていきましょう。

★こまめに上書き保存するように促す。

★やり方が分からず戸惑っているグループには教師も話し合いに参加して適切な助言を与える。

■ワークシートに今日の授業の感想と自己評価を記入する。
(v03_bansho2. pptx : P24)

T: では、本日のメロディーづくりはここまでです。
つくったメロディーを上書き保存してください。
上書き保存できたら、ボーカロイド教育版を終了して、タブレット端末をシャットダウンしましょう。

★最後にデータ保存を忘れないようにする。

まとめ
5分

まとめ

歌づくりの手順

- ① 歌詞を考える（1小節に**8文字以内**）
- ② リズムを考える（**言葉の区切り**をわかりやすくしよう）
→言葉の区切りでは、
 - ・音を**伸ばす**
 - ・**休符**を入れる
- ③ 音の高さを考える（**言葉の上がり下がり**を手がかりにしよう）
- ④ **伴奏に合うメロディー**にしよう

Copyright © Yamaha Corporation. All rights reserved.

T：今日の授業のまとめです。

まずは前回の歌づくりの手順を復習しながら、リズムと音の高さを考えてメロディーをつくりました。

特にリズムを考える際に、今回は言葉の区切りが分かりやすくなるように注意してつくりましたね。

そして、伴奏に合うメロディーのつくり方を学びました。

ワークシートの「歌づくりの手順をまとめよう」の部分の空欄を各自埋めていってくださいね。

また、今日の授業の感想と自己評価もワークシートに記入しましょう。

・ 次回の授業への導入

T：次回の授業では、今日つくった歌にもっともっと磨きをかけて仕上げていきます。

最後にグループごとに歌って発表します。素晴らしい歌を発表できるようにがんばりましょう！